都市計画技術の4つの特質：1

- 「社会的」技術であること
  - 自然科学の法則に則って唯一の絶対的な解が存在するような技術体系ではなく、いくつかの可能な解の中から、社会的価値判断に従ってその一つを選択するという側面を強く有している技術

都市計画技術の4つの特質：2

- 全体性・一体性が求められること
  - 都市の諸主体が直接関連する個々の空間を個別直接に操作するのでなく、都市全体の空間構造を調整することによって都市全体の機能を高め、そのことが結果として個々の諸主体を取り巻く環境の向上をもたらすという論理的構造を有する

都市計画技術の4つの特質：3

- 他の空間計画との整合性が求められること
  - 「都市レベルの計画」である都市計画は、都市をその一部とするようなより大きな空間の計画や、都市を分割した小空間の計画と、整合性が保たれていなければならない。

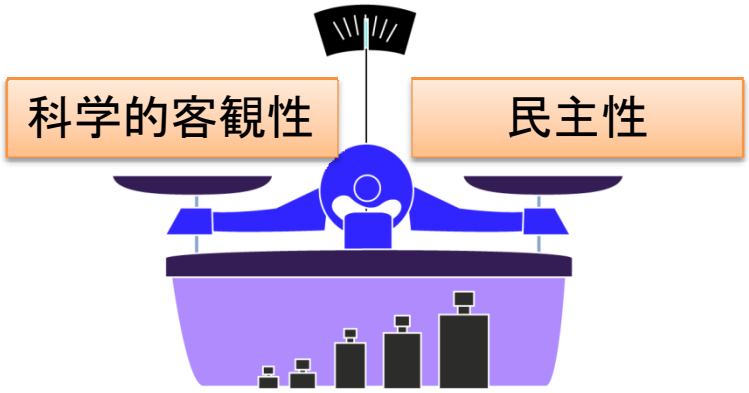
都市計画技術の4つの特質：4

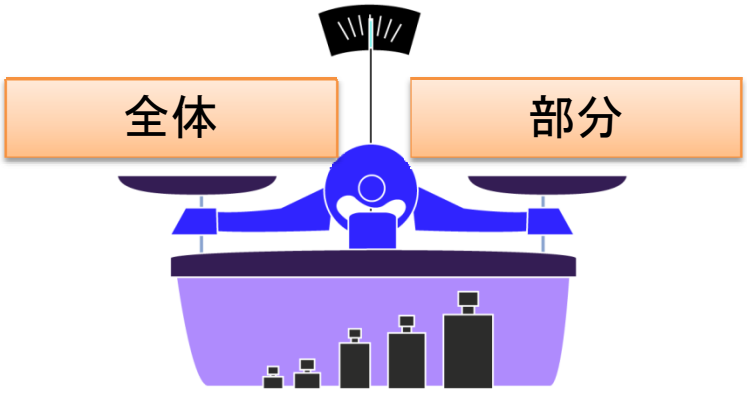
- 実現に長い時間がかかること
  - 基本的に長期事前確定的であり、固定された目標に対して少しずつその実現を図らざるを得ない傾向がある

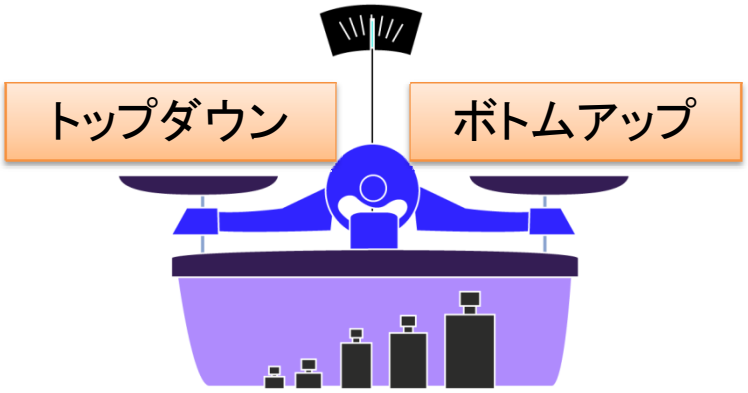
４つの特質に対する疑問・揺らぎ

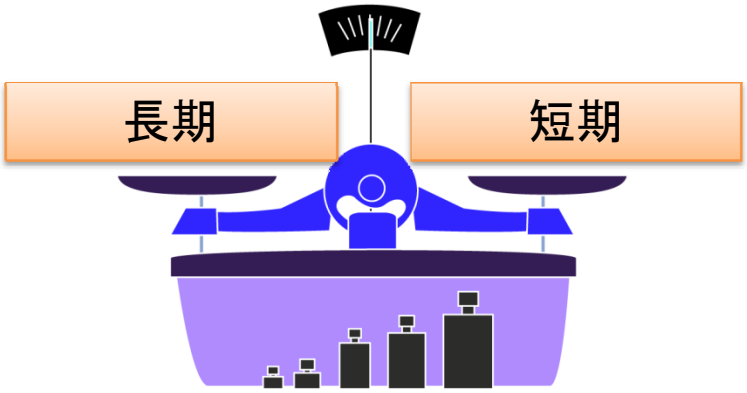
- 「社会的」技術であること
  - 科学的客観性　vs　民主性
- 全体性・一体性が求められること
  - 全体　vs　部分
- 他の空間計画との整合性が求められること
  - トップダウン　vs　ボトムアップ
- 実現に長い時間がかかること
  - 長期的利益　vs　短期的利益

4つのバランス









都市計画の主体

- 行政
- 民間
- 市民・住民
- 専門家
- パートナーシップ・協働